

第87回 獣医学セミナー

マダニ媒介性感染症の 総合的な理解を目指して

高野 愛 先生

(獣医疫学)

2022年 11月30日(水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101

マダニ媒介性感染症は、一部の例外を除き、マダニに吸血されることで人や動物が感染する。マダニの普段の吸血源動物は野生動物や家畜など、人以外の動物であることが多い。そのため、マダニ媒介性感染症の感染制御は、自然界のどのような因子が保菌動物の数やマダニの数に影響を与え、その結果マダニの病原体陽性率がどのように変化するのかを理解する必要がある。さらに、病原体が人などに感染するためには、マダニの唾液に分泌され、排出される必要があるが、マダニ体内での病原体の動向はほとんどわかっていない。これは、マダニの世代時間が長く、ラボ株の樹立種が少ないことや、マダニ由来の汎用される培養細胞がないことに起因する。

我々の研究室では、各種のマダニを用いた感染実験や、野外での疫学調査などを介して、これらマダニ媒介性感染症の総合的な理解を進めるための研究を行なっている。その一端をご紹介したい。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：三宅（5913）、伊賀瀬（5897）

